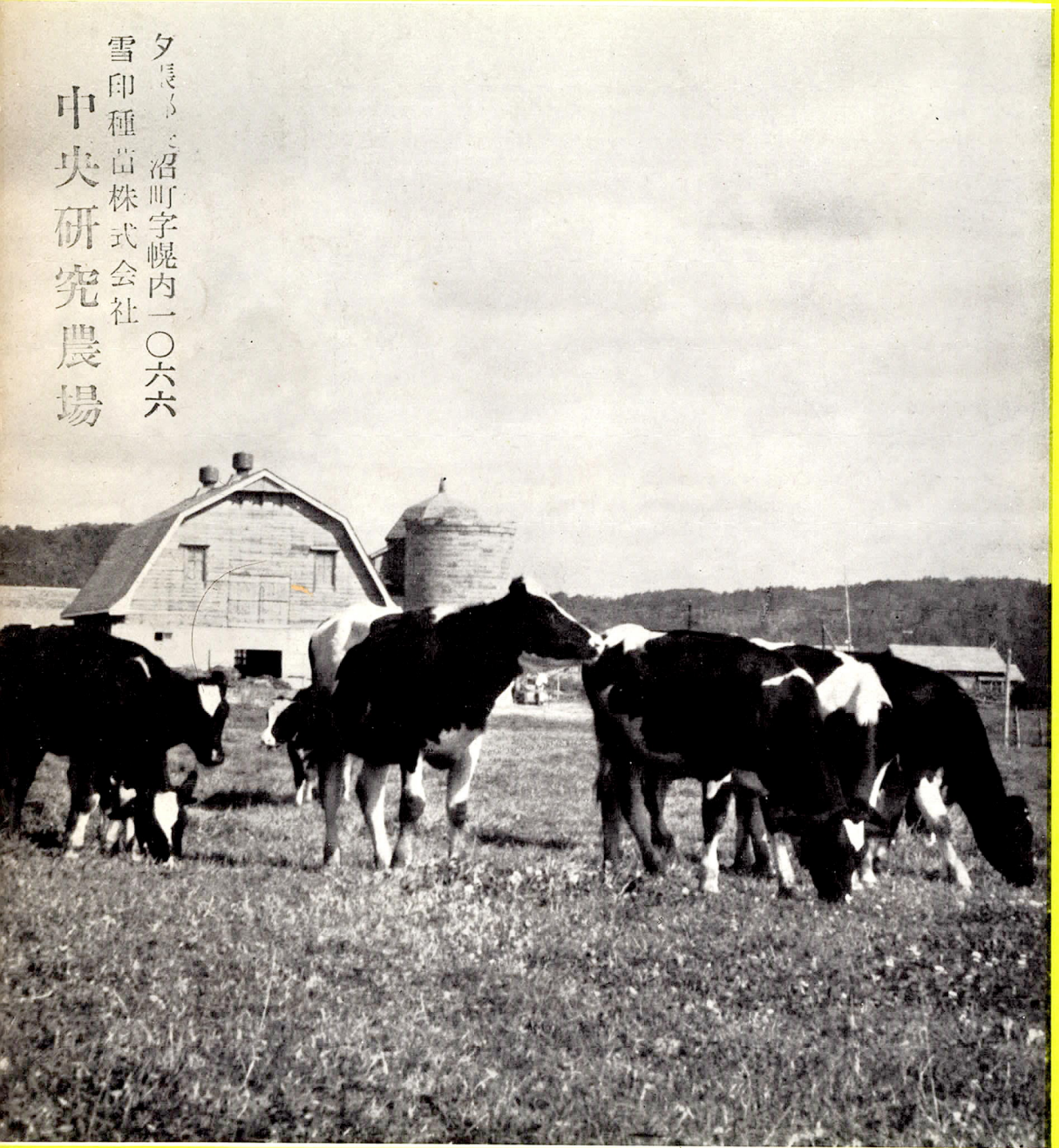


牧草園藝

夕長沼町字幌内一〇六六
雪印種苗株式会社
中央研究農場



雪印種苗株式会社

根菜類

雪印が
お奨めする
育成選抜品種の解説
家畜ビート (MGM・BGB)

(一) 育成の目的

栽培労力の省力(薬剤散布の軽減)と多収、貯蔵性向上を目的として褐斑病に強い抵抗性を有する品種を育成しようとした。

(二) 育成経過

家畜ビート耐病性新品種 MGM・BGB



昭和二十八年に改良に着手し耐病性、貯蔵性と更に甜菜では収量の多いGW三〇四(導入一号)と、それに家畜ビートの代表品種であるマリエンリスト及びバトレスを交配し、更に一〜二回の戻交配(Back Cross)を行なって育成したものです。

(イ) M・G・M

GW三〇四号を母とし、マリエンリストを父とし、その後代から雑種個体(根部着色のもの)を選び、更にこれに根部肥大を期待してマリエンリストの戻し交配を行ない、爾後、褐斑病の培養菌を接種、耐病性を検定しつつ選抜固定をはかって行なった。

(ロ) B・G・B

母GW三〇四、父バトレスストリーネで他はM・G・Mと同様の操作で行なった。

(三) 特性概要

(表参照)

(イ) M・G・M

根色は桃色で、円錐形、肉質堅く、含糖分高く、多収で褐斑病、根グサレ病共に強い抵抗性をもち、晩生品種で道北より道東内陸部、道央、道南地方において好成绩を得ています。

(ロ) B・G・B

根色はいまだ分離中で橙色の中に桃色のものを混入するもM・G・Mに比し幾分早生と認められ、夏季生育日数の短い地帯の耐病性品種(褐斑病のみ)として利用されたい。

(四) 栽培利用上の注意

栽培にあたっては両品種とも晩生系で、しかも肉質堅密となる品種ですから、多収を得るには地味肥沃の土地に、充分の施肥を行ない、出来るだけ早まきを行ない、生育日数を充分にとることが必要です。栽培本数は普通地で六〜七、〇〇〇株(六六株×二四株または二一四株内外)が適当。貯蔵性は、従来利用されていたどの品種よりも強いので春利用の品種としてよく、また給与にあたっては糖分含量が高いので、一時に多給しますと下痢症状を呈しますから、日量二〇キ前後とすること。

家畜ビート耐病性品種特性概要表

品種名	根の調査			葉の調査			一〇ア当収量			病害			
	色	形	長	葉生収	葉面積	長	葉重	根重	割合	乾物率	含糖率	褐斑病	根グサレ
シユガール	青	長紡錘	二六	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	中	中
マンゴールド	桃	円錐	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	少	少
M・G・M	桃・橙	円錐	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	中	中
B・G・B	桃	円錐	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	少	少
B・G・B	桃	紡錘	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	少	少
バトレス	橙	紡錘	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	少	少
ストリーネ	橙	紡錘	二五	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	少	少



収穫中のビート(M・G・M)、葉量が非常に多い

特にケトージスの発生しやすい乳牛には糖分補給ができて予防あるいは治療対策として好結果が期待できます。

備考 1 播種期四月二六日 2 畦幅、株間、五〇株×三〇株(一〇ア当六、五〇〇株)
3 施肥量(一〇ア当、硫酸二二キ、過石一六キ、塩加一六キ、尿素八キ、石膏一六キ、燐りん三六キ、堆肥二〇〇〇キ)